


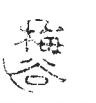







支出命令書 (一般)

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
**	**	**	**	**				
会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
			**			**		


起票日	令和5年9月20日	所属	080100 市議会事務局
年度	令和5年度	会計	01 一般会計
科目	01 議会費	予算区分	0 現年度
目	01 議会費		
事業	040000 議会調査研究事業		
節	18 負担金、補助及び交付金		
細節	90 その他		
細々節	06 政務活動費		

金額	14,012円	控除	所得税	0円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	11回		雇用保険料	0円	源泉徴収確認
負担行為額	1,200,000円		その他	0円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	106,986円	請求書番号	控除額合計	0円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	1,093,014円				
源泉支払内容	*****				

件名	事務費 キヤノンプリンターインク (BC-360XLブラック×2個、361XL3色カラー×2個)
----	--

摘要	
----	--

支払方法	21 現金払	支払希望日	令和5年10月-5日
住所			
名称	泉大津創志会代表者 池辺 貢三		
役職等/氏名			
銀行/口座			
口座名義人	債権者番号		

領収住所			領収印	
領収氏名	泉大津創志会代表者 池辺 貢三			

上記の金額を領収しました。

支払済

令和5年10月-5日

泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認

001



負担行為番号

05-002637

伝票番号

05-010357

整理番号








05-000012-11

呼出番号

00538619



05 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06


供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

令和5年9月20日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 泉大津創志会
代表者名 池辺貢三 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	14,012円		
内 訳	キヤノン(株)インクカートリッジ BC-360XL ブラック 2個×@3,546円 BC-361XL 3色カラー 2個×@3,460円		
支払先	(株)イノウエ商事		
予算科目	事務費	交付残額	1,093,014円
使用者名	池辺 貢三		

納品書 登録番号 T9120101042177



泉大津創志会

取引先コード	年月日	伝票番号
1001-100	R5.9.20	882924-1

様 9

TEL 0725-23-1147(代)
FAX 0725-22-4445

JOINTEXコード/メーカー名	製品品番/品名	数量	単位	単価	金額	備考																		
753565 キヤノン	BC-360XL インクカートリッジ BC-360XL ブラック	2.00	個	3,546.00	7,092	売上																		
753567 キヤノン	BC-361XL インクカートリッジ BC-361XL 3色カラー	2.00	個	3,460.00	6,920	売上																		
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:30%;">(内消費税等)</td> <td style="width:20%;">明細合計</td> <td style="width:10%;">14,012</td> <td style="width:10%;"></td> <td style="width:10%;"></td> <td style="width:10%;"></td> </tr> <tr> <td>(10%対象 14,012 消費税 1,273)</td> <td>消費税額</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>伝票合計</td> <td>14,012</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						(内消費税等)	明細合計	14,012				(10%対象 14,012 消費税 1,273)	消費税額	0					伝票合計	14,012				検 印
(内消費税等)	明細合計	14,012																						
(10%対象 14,012 消費税 1,273)	消費税額	0																						
	伝票合計	14,012																						

「※」は軽減税率対象であることを示します。

請求書 登録番号 T9120101042177



泉大津創志会

取引先コード	年月日	伝票番号
1001-100	R5.9.20	882924-1

様 9

TEL 0725-23-1147(代)
FAX 0725-22-4445

JOINTEXコード/メーカー名	製品品番/品名	数量	単位	単価	金額	備考																		
753565 キヤノン	BC-360XL インクカートリッジ BC-360XL ブラック	2.00	個	3,546.00	7,092	売上																		
753567 キヤノン	BC-361XL インクカートリッジ BC-361XL 3色カラー	2.00	個	3,460.00	6,920	売上																		
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:30%;">(内消費税等)</td> <td style="width:20%;">明細合計</td> <td style="width:10%;">14,012</td> <td style="width:10%;"></td> <td style="width:10%;"></td> <td style="width:10%;"></td> </tr> <tr> <td>(10%対象 14,012 消費税 1,273)</td> <td>消費税額</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>伝票合計</td> <td>14,012</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						(内消費税等)	明細合計	14,012				(10%対象 14,012 消費税 1,273)	消費税額	0					伝票合計	14,012				検 印
(内消費税等)	明細合計	14,012																						
(10%対象 14,012 消費税 1,273)	消費税額	0																						
	伝票合計	14,012																						

「※」は軽減税率対象であることを示します。

領収証 池辺 貢三

様 No. _____

★ ¥ 14,012

但 インターナショナル

R5 年 10 月 5 日 上記正に領収いたしました

内 訳










税抜金額

消費税額等(%)

コクヨ ウケ-6N

大阪府泉大津市我孫子2-4-20
株式会社  工商事
電話 0725-23-1147(代)

支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 	係長 	担当者 **	入力 	財政課合議 **	検収者	


起票日	令和 5年 9月 20日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和 5 年度	会計	01 一般会計
科目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	

金額	30,380 円	控除	所得税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	12 回		雇用保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	1,200,000 円		その他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	137,366 円		控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	1,062,634 円		請求書番号		
源泉支払内容	*****				

件名	研究研修費 10/12~10/13 第85回全国都市問題会議参加負担金及び振込手数料
----	--

摘要	
----	--

債権者等	支払方法	21 現金払	支払希望日	令和5年 10月 - 4日
	住所			
	名称	泉大津創志会代表者 池辺 貢三		
	役職等/氏名			
	銀行/口座			
	口座名義人			債権者番号

領収	住所		領収印	
	氏名	泉大津創志会代表者 池辺 貢三		

上記の金額を領収しました。

支払済

令和5年 10月 - 4日

泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認

001

負担行為番号

05-002637

伝票番号

05-010408

整理番号


05-000012-12

呼出番号

00538722



05 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06


供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								 

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

令和5年9月20日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 泉大津創志会
代表者名 池辺貢三 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	30,380円		
内 訳	10/12~10/13 青森県八戸市 第85回全国都市問題会議参加負担金及び振込手数料		
支払先	(株)JTB		
予算科目	研究研修費	交付残額	1,062,634円
使用者名	池辺貢三、村田 雅利、井上 信久		

令和5年9月5日

請求及び受領委任状兼口座振替依頼書

第85回全国都市問題会議 参加者各位

(委任者) 住所 青森県八戸市内丸一丁目1番1号

氏名 第85回全国都市問題会議実行委員会 会長 熊谷 雄一

下記の参加費に係る請求及び受領につきまして、次のものに委任します。

(受任者) 住所 宮城県仙台市青葉区一番町3丁目7番23号 明治安田生命仙台一番町ビル3階

氏名 株式会社JTBジェイネット東北 所長 鎌田 友子

●参加費 第85回全国都市問題会議参加費 お一人様 ￥10,000- (不課税)

なお、請求金の支払いにつきましては下記の口座に振り替えてくださいますようお願いいたします。

銀行名		支店名		預金種目	9. その他 ()
口座番号					
口座名義	(カナ)				

だいしんキャッシュサービス
ご利用明細票

本日はご利用いただきありがとうございます。
ご利用明細票をご確認のうえ、お持ち帰りください。
裏面もご覧ください。

お取扱日	取扱金庫・店番・通番	
05 10 04	1630074マ-2732	
お取引店	口座番号	
お取引金種	万円	千円
お取引内容	振込	円
手数料	¥380	お取引金額
時刻	14:44	¥30,000*
説明コード	お取引後残高	

お受取人










ご依頼人

000204イｽﾞﾐｵｯｼｭｷﾞｶｲｲｽﾞﾐ
オツツウシカイ様 0725331131

印紙税申告納
付に
税務署承認済

大阪信用金庫

支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 	係長 	担当者 **	入力 	財政課合議 **	検収者	

起票日	令和5年9月27日	所属	080100 市議会事務局
年度	令和5年度	会計	01 一般会計
科目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	
予算区分	0 現年度		

金額	81,620 円	控除	所得税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	13 回		雇用保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	1,200,000 円		その他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	218,986 円		控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	981,014 円		請求書番号		
源泉支払内容	*****				


件名 旅費 10/11~10/13 青森県八戸市 第85回全国都市問題会議

摘要 池辺議員

支払方法	21 現金払	支払希望日	令和5年 10月10日
債権者等	住所		
	名称	泉大津創志会代表者 池辺 貢三	
	役職等/ 氏名		
	銀行/ 口座		
	口座名義人	債権者番号	

領収 住所 泉大津創志会代表者 池辺 貢三

氏名 泉大津創志会代表者 池辺 貢三

領収印 

上記の金額を領収しました。

支払済

令和5年 10月10日
泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認

002



負担行為番号
05-002637

伝票番号

05-010642

整理番号









05-000012-13

呼出番号

00539608



05 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06


供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号(第4条関係)

政務活動費交付請求書

令和5年9月27日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 泉大津創志会
代表者名 池辺貢三 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	81,620円		
内 訳	10/11~10/13 青森県八戸市 第85回全国都市問題会議 参加旅費		
支払先	池辺 貢三		
予算科目	旅費	交付残額	981,014円
使用者名	池辺 貢三		

令和5年度

出張申請書

(出張)

会派名	泉大津創志会		氏名	池辺 貢三				
出発・帰庁年月日		出発 令和5年10月11日		帰庁 令和5年10月13日				
出張先(順路)		八戸市公会堂・公会堂文化ホール(青森県八戸市内丸一丁目1番1号)						
目的及び用件		第85回全国都市問題会議に参加						
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 490	円	円	円	円	円	円 490
なんば駅前 (空港リムジンバス 伊丹空港線) 伊丹空港				650				650
" (飛行機) 三沢空港		JAL2163便 (スペシャルセイバー) 14,310						14,310
" (三沢空港連絡バス) 本八戸駅前 本八戸				1,500	2泊 30,000	3日 7,000		38,500
八戸 (八戸線) 八戸	1194.4 6.1	14,080						14,080
" (東北新幹線) 東京	631.9		特急料金 (はやぶさ) 6,800					6,800
" (東海道新幹線) 新大阪	556.4		特急料金 (のぞみ) 5,810	繁忙期 200				6,010
" (大阪外口御堂筋線) なんば 難波		290						290
泉大津 (南海本線) 泉大津		490						490
(線)			10月12日の日当については、泉大津市職員旅費条例第23条及び同条例施行規則第4条の例により支給しない。					
(線)								

主管課用

令和5年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	泉大津創志会	氏名	池辺 貢三
出発・帰庁年月日	出発 令和5年10月11日	帰庁	令和5年10月13日
出張先(順路)	八戸市公会堂・公会堂文化ホール(青森県八戸市内丸一丁目1番1号)		
目的及び用件	第85回全国都市問題会議に参加		

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 490	円	円	円	円	円	円 490
なんば駅前 (空港リムジンバス 伊丹空港線) 伊丹空港				650				650
" (飛行機) 三沢空港		JAL2163便 (スペシャルセ이버) 14,310						14,310
" (三沢空港連絡バス) 本八戸駅前				1,500	2泊 30,000	3日 7,000		38,500
本八戸 (八戸線) 八戸	1194.4 6.1	14,080						14,080
" (東北新幹線) 東京	631.9		特急料金 (はやぶさ) 6,800					6,800
" (東海道新幹線) 新大阪	556.4		特急料金 (のぞみ) 5,810	繁忙期 200				6,010
" (大阪外口御堂筋線) なんば		290						290
難波 (南海本線) 泉大津		490						490
(線)								
(線)								
							計	81,620

10月12日の日当については、泉大津市職員旅費条例第23条及び同条例施行規則第4条の例により支給しない。

右の金額領収いたしました。

令和 年 月 日

金額 ￥ 8 1 6 2 0








泉大津市会計管理者 殿

職名 泉大津創志会

氏名 池辺 貢三



□決 裁 ■供 覧

受 発 記 号 ・ 番 号				収受年月日	令和5年10月17日	
差 出 名		泉大津創志会 池辺 貢三				
あ て 名		泉大津市議会議長			提出期限	
収 受 文 書 の 記 号				収受文書の日付	令和5年10月17日	
件 名		報告書				
議長		副議長	事務局長	次長	合 議	
						
主 管	次長補佐	議事調査係長	庶務係長	主査		
						
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項						
<p>日 時：令和5年10月11日（水）～令和5年10月13日（金）</p> <p>出張先：青森県八戸市 八戸市公会堂・公会堂文化ホール</p> <p>目 的：第85回全国都市問題会議に参加</p>						

会派代表



報 告 書

令和5年10月17日

泉大津市議会議長 様

(会派名) 泉大津創志会
出張者氏名 池辺 貢三



下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

1. 日 時 令和5年10月11日(水)～10月13日(金)
2. 出張先 青森県八戸市
八戸市公会堂・公会堂文化ホール
3. 目 的 第85回全国都市問題会議
4. 報告事項 別紙添付

報告事項

総数 1,810 名の参加者により八戸市公会堂・公会堂文化ホールで行われた都市問題会議へ数年ぶりに出席しました。

今回の全国都市問題会議のテーマは、文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展でした。

特に印象に残った部分を報告致します。

1 日目、基調講演として東京藝術大学長でありアーティストの日比野克彦氏より【アート役割って何だろう？】を題してご講演頂きました。

その基調講演では、1 つ目には『アートとは多様性ある社会を築く基盤』であるということ。

現代の社会では、多様性の価値観への眼差しが次世代の大きなテーマとなっています。

誰しものが互いにその人のそれぞれのらしさを排除しない社会を構築していかなければならない現代社会の中で、他者との違いがその人の個性になるというアートの価値観は、多様な価値観を認識することのできるフィールドになると考えられました。

また、『アートは社会的な課題に対して持続的に取り組み続けていくには大切なものである』と基本的な考え方や、そもそもアートとは？という視点から様々な事例を紹介頂きました。

なかでも、2021 年に開館のされた八戸市立美術館では、市民交流の場であるジャイアントルームを設置し、コミュニティの拠点をつくることにより人が集まり会話が生まれる。さらには、取り組まれている様々な事業によって人が集まるコミュニティづくりにもつながっている事をお聞きしました。

また、熊本市現代美術館、館長の取り組みでは、資料としても添付頂いていたのですが、「ご用聞き」の取り組みに、その行動力があってこそ

新たな活性化につながるのだと感じ、さらに感心したのが、総合計画展を実施予定で進めているという事でした。

第5次総合計画策定に向け動き出している本市にとっても、より多くの市民、住民の方々に市政を知って頂くことのできる取り組みになると考えられるので、様々な事をチャンスと捉え進めていく事を提言していきたいと感じました。

また主報告として、青森県八戸市長の熊谷雄一氏より【八戸市の文化・スポーツによるまちづくり】として、様々なスポーツ大会実施の紹介を頂いたが、それら大会に対応することのできる各施設を所有している八戸市にとっては可能であると言えるが、本市を振り返ると総合体育館をはじめ、他施設においても大きな大会を開催する規模ではないため、今後隣接自治体との広域での大会開催など、様々な工夫を用いることが必要であると感じました。

また一般報告では文化事業ディレクターであり演出家の吉川由美氏より、

【まちづくりの活力は地域に根ざした文化政策から育まれる】

長野県東御市長の花岡利夫氏より、

【標高差 1,500m の地勢を活かしたスポーツ・ツーリズムの創出】

株式会社鹿島アントラーズ FC 取締役副社長の鈴木秀樹氏より、

【まちづくりにおけるプロスポーツクラブの有効活用】

についてのご講演を頂きました。

それらの講演をまとめさせて頂くと、

- ・アート・文化それ自体の役割、可能性
- ・地域の資源の見直し×スポーツ振興
- ・人を育てる(行政、住民、事業者)
- ・まちづくりを協働できる人、企業との成長

という事でありました。

それらの議論をもとに行われた2日目のパネルディスカッションでは、コーディネーターに、東京大学大学院人文社会系研究科教授の小林真理氏。

パネリストには、合同会社 imajimu 代表取締役の今川和佳子氏、拓殖大学商学部教授の松橋崇史氏、静岡県沼津市長の頼重秀一氏、京都府綾部市長の山崎善也氏をお招きして行われました。

「人間がいるところには必ず文化がある。」



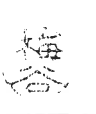
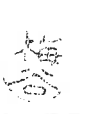





その文化の存在を考えるきっかけとなったディスカッションでは、衰退した横丁の復活プロジェクトで、昼飲み部やアーティストによるパフォーマンスなど様々なイベントを開催し、振興を図ったところ、市民の中から「魅力的」との声があがってきたなど、様々な事例紹介を頂きました。

そういった意味では、地域の活性化こそ人の活性化や地域の文化力向上に直結していると考えられ、これからの泉大津にとってのまちづくりに、繋げていくことのできる事例が多くあることを感じました。

また、今回の全国都市問題会議を通して感じたのは、ハード行政があつてこそそのソフト面を充実させていく八戸市に対して、厳しい財政運営を行う本市にとって、地域資源の違いを大きく感じました。

しかしながら、今後の公共施設の更新に伴う教育施設の在り方や運営方針によっては、本市スポーツ施策の推進、文化力の向上に寄与することのできる事例の紹介が多くあったことから、市に対して様々な角度から提言へと繋げていきたいと強く感じました。

支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 	係長 	担当者 **	入力 	財政課合議 **	検収者	

起 票 日	令和 5年 9月 27日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和 5 年度	会計	01 一般会計
科目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	

金額	77,060 円	控除	所得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	14 回		雇用 保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	1,200,000 円		そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	296,046 円		控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	903,954 円		請求書番号		
源泉支払内容	*****				

件名 旅費 10/11~10/13 青森県八戸市 第85回全国都市問題会議

摘要 村田議員

債権者等	支払方法	21 現金払	支払希望日	令和5年 10月 1 日
	住所			
	名称	泉大津創志会代表者 池辺 貢三		
	役職等/氏名			
	銀行/口座			
	口座名義人	債権者番号		

領収 住所 泉大津創志会代表者 池辺 貢三
氏名

上記の金額を領収しました。

支払済

令和5年 10月 1 日

泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認

002

負担行為番号

05-002637

伝票番号

05-010643

整理番号









05-000012-14

呼出番号

00539617



05 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

令和5年9月27日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 泉大津創志会
代表者名 池辺貢三



政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	77,060円		
内 訳	10/11~10/13 青森県八戸市 第85回全国都市問題会議 参加旅費		
支払先	村田 雅利		
予算科目	旅費	交付残額	903,954円
使用者名	村田 雅利		

令和5年度

出張申請書

(出張)

会派名	泉大津創志会		氏名	村田 雅利				
出発・帰庁年月日	出発 令和5年10月11日		帰庁 令和5年10月13日					
出張先(順路)	八戸市公会堂・公会堂文化ホール(青森県八戸市内丸一丁目1番1号)							
目的及び用件	第85回全国都市問題会議に参加							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 490	円	円	円	円	円	円 490
なんば駅前 (空港リムジンバス 伊丹空港線) 伊丹空港				650				650
" (飛行機) 三沢空港		JAL2163便 (スペシャルセ이버) 14,310						14,310
" (三沢空港連絡バス) 本八戸駅前				1,500	2泊 30,000	3日 7,000		38,500
本八戸 (八戸線) 八戸	286.2	5,170						5,170
" (東北新幹線) 仙台	6.1		特急料金 (はやぶさ) 4,270					4,270
" (仙台空港アクセス線) 仙台空港	280.1	660						660
" (飛行機) 関西空港		peachMM138便 (ハリュースーパー) 12,290						12,290
" (南海本線) 泉大津				720				720
(線)								
(線)							計	77,060

10月12日の日当については、泉大津市職員旅費条例第23条及び同条例施行規則第4条の例により支給しない。

主管課用

令和5年度








領収書兼旅費明細書

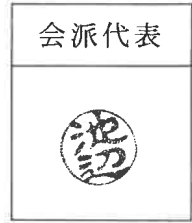
(出張)

会派名	泉大津創志会		氏名	村田 雅利					
出発・帰庁年月日		出発 令和5年10月11日		帰庁 令和5年10月13日					
出張先(順路)		八戸市公会堂・公会堂文化ホール(青森県八戸市内丸一丁目1番1号)							
目的及び用件		第85回全国都市問題会議に参加							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計	
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 490	円	円	円	円	円	円 490	
なんば駅前 (空港リムジンバス 伊丹空港線) 伊丹空港				650				650	
" (飛行機) 三沢空港		JAL2163便 (スペシャルセイバー) 14,310						14,310	
" (三沢空港連絡バス) 本八戸駅前 本八戸				1,500	2泊 30,000	3日 7,000		38,500	
八戸 (八戸線)	286.2								
" (東北新幹線) 仙台	6.1	5,170	特急料金 (はやぶさ) 4,270					5,170	
" (仙台空港アクセス線) 仙台空港	280.1							4,270	
" (飛行機) 関西空港		peachMM138便 (ハリュールピーチ) 12,290						660	
" (南海本線) 泉大津				720				12,290	
(線)			10月12日の日当については、泉大津市職員旅費条例第23条及び同条例施行規則第4条の例により支給しない。					計	77,060
(線)									
右の金額領収いたしました。				金額	¥ 77060				
令和 年 月 日				職名	泉大津創志会				
泉大津市会計管理者 殿				氏名	村田 雅利				



□決 裁 ■供 覧

受発記号・番号				收受年月日	令和5年11月13日				
差出 名		泉大津創志会 村田 雅利							
あて 名		泉大津市議会議長				提出期限			
收受文書の記号				收受文書の日付	令和5年11月13日				
件 名		報告書							
議長		副議長		事務局長		次長		合	
									
主 管	次長補佐		議事調査係長		庶務係長		主査		議
									
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項									
<p>日 時：令和5年10月11日（水）～令和5年10月13日（金）</p> <p>出張先：青森県八戸市 八戸市公会堂・公会堂文化ホール</p> <p>目 的：第85回全国都市問題会議に参加</p>									



報 告 書

令和5年11月13日

泉大津市議会議長 様

(会派名) 泉大津創志会

出張者氏名 村田 雅利



下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

1. 日 時 令和5年10月11日(水)～10月13日(金)
2. 出張先 青森県八戸市
八戸市公会堂・公会堂文化ホール
3. 目 的 第85回全国都市問題会議
4. 報告事項 別紙添付

議題 文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展

基調講演 「アートの役割って何だろう？」

日比野 克彦 東京藝術大学長、アーティスト

所見 1つ目の捉え方は、アートとは「生きる力」と捉えてみる。
アートに欠かせないのがイメージする力、想像力です。時間は前にしか進みません。止まりもしないし、もどることもできません。
想像力を備えているアートには、時間に制御されてしまっている私たちの身体の中の時間を柔軟に伸ばしたり、縮めたりすることができる機能があるような気がするのです。アートは、人が人らしく生きていくためにとても重要な役割を持っているのです。アートは「人が生きていく力」と捉えることができるのではないかと。
2つ目の捉え方は、アートとは「多様性ある社会を築く基盤」と捉えてみる。
現代の社会において、多様性の価値観への眼差しが次世代の大きなテーマとなっています。障害のあるなしとか、また、個々の異なる背景にかかわらず、誰しもうが互いにその人のそれぞれのらしさを排除しない社会を目指しています。
多様性ある社会を目指すことをはじめ、地球規模の環境問題、エネルギー、教育、差別、貧困、平和などなど、これらの社会的課題に対して人が取り組んでいく時に、その行為を継続的に持続的に続けていくには、1人1人の気持ちが動くか、心が動くかが大切になってくると思います。
3つ目の捉え方は、アートは「社会的な課題に対して持続的に取り組み続けていくにはたいせつなものである」と捉えてみる。
人の心を動かすことはアートの機能、役割、特性ともいえます。アートは「社会的な課題に対して持続的に取り組み続けていくには大切なものである」と捉えることができるような気がするのです。
想像力を備えているアートは人の生きる力になって、1人1人の差異を個性という価値観を持つアートは人をつなぐものになって、心に作用するアートは社会的課題に取り組んでいく上で大切なものになる。近代社会において、人は時間、空間と対峙し、短時間に大量に物質を情報をコントロールし続けてきています。その進化の線上には、さまざまな社会的課題が発生する起因ともなっている場面も少なくありません。これらの課題に対してアートの特性を活用することができるのではないのでしょうか。大きな力が世界を動かすのではなく、1人1人の小さいけれども、確実にある、すこしずつ異なった多様な想いが時代を変化させていくような気がします。これからの活動に色々と考えさせていただきました。

主報告 八戸市の文化・スポーツによるまちづくり

熊谷 雄一 青森県八戸市長

所見 八戸市は、太平洋を臨む北東北東海岸に位置し、面積は約 305 km²、人口約 22 万人の中核市である。

背景と取り組み 市では「はちのへ文化のまちづくりプラン～八戸市文化芸術推進基本計画～」や「八戸市スポーツ推進計画」を定めている。

・文化によるまちづくり

2006年、市では、市民の多様で特色ある自主的な文化活動を「多文化」と定義し、市民や有識者による「多文化都市八戸推進会議」を立ち上げ、振興策を検討してきた。その過程で、文化政策の新たな展開として地域資源の再評価や地域課題にアートの力を活用して取り組むアートプロジェクトの必要性などがビジョンとして示された。一方、時を同じくして中心市街地活性化という地域課題がクローズアップされていた。モータリゼーションの進展、規制緩和に伴う商業機能の郊外移転、ライフスタイルの多様化、物流やネット通販の伸長による消費行動の変化などの影響で、旧市街地の商業施設が衰退する現象は、多くの地方都市が抱える課題である。そのような中、2011年、新たな交流と創造の拠点として開館した八戸ポータルミュージアムはっちは、地域資源の魅力を創出、発信し、文化芸術、産業、観光、市民活動、子育て支援といった各施設を一体にした施設としてオープンした。

その場に行かなければ得られないもの、出会えない人やコトが集まる場を、市民が観客としてではなく、当事者として自らも参加したり創作したりできる形で作ることが、はっち運営のキーコンセプトである。

文化の力、スポーツの力 文化・スポーツが多くの人を惹きつけてやまないのは、「生きる喜び」に直接訴えかけるといふ、それらが持つ本質的な価値によるところが大きいことは言うまでもない。

・地域資源を活かす拠点とネットワークをつくること

持続可能な取り組みにおいて、拠点があることは重要である。公営のブックセンターは、書店機能を持つ「本のまち八戸」の拠点施設であり、「本を『読む人』を増やす、本を『書く人』を増やす、本で『まち』を盛り上げる」を運営の基本方針とし、企画を担う専門人材を確保しながら、さまざまな取り組みを行っている。普遍化していえば、公共の施設が専門人材という人的資源を持ちながら、ハブとなる持続的な拠点として、まちにコミュニケーションの新たな回路をつくり、ネットワーク化すること。そのことが内需経済のプラスも生んでいる。

様々な課題はありますが泉大津でも参考にして考えたいと思います。

一般報告 まちづくりの活力は地域に根ざした文化政策から生まれる

文化事業ディレクター、演出家 吉川 由美

標高差1500mの地勢を活かしたスポーツツーリズムの創出

長野県東御市長 花岡 利夫

まちづくりにおけるプロスポーツクラブの有効活用

株式会社鹿島アントラーズFC取締役副社長 鈴木 秀樹

所見 まちのリノベーションと「はっち」の誕生、はっちは、観光、地域資源、ものづくり、食文化、祭礼と芸能、風俗、自然、子育て、市民活動、シアター、スタジオ、アーティスト・イン・レジデンス、コミュニティFMなど、多様な情報のショーケースでありつつ、市民を主体とするさまざまな活動の拠点である。まちを再生する市民力をブーストするには、市民が自分事として参加できる、分野を横断し壁を揺さぶるようなアートプロジェクトが必要だと考え、地域に根ざしたテーマを探し、アーティストのみなさん、市職員・コーディネーターたちとプロジェクトを進めた。

八戸市は「はちのへ文化のまちづくりプラン～八戸市文化芸術推進基本計画」で、地域の固有性の追求、分野横断、社会包摂を指針として位置づけ、文化のまちづくりを進めている。

文化政策は、コンサートや展覧会の鑑賞の機会を作り出すことだけにとどまらない。それは市民が主体的に心豊かに生き生きと生きられる地域社会をつくる政策に他ならない。八戸市では、八戸三社大祭が真夏の4日間にわたり開催される。毎年27の山車組が、新たなテーマで巨大な山車をつくる。仕事が終わると各山車小屋に老若男女が集い、夜半まで山車づくりに専念する。子どもたちのお囃子の稽古も地域の人々が担い、山車組の運営を賄うためのご祝儀も地域の家々やお店などに門付けして集めて回る。

山車造形や色彩感覚の独自性だけでなく、祭りを支える市民の無償の行為と心意気こそが、八戸三社大祭を支える地域の分母としての文化である。

祭りは地域経済を浮揚しうる観光産業の優良コンテンツでもある。その商品としての祭りを支えているのは、多くの場合、市民のボランティアな力だということを決して忘れてはならない。地域の分母としての文化の価値を、今、行政も市民も意識するべきだろう。

次にプロスポーツクラブの存在はシティーセールスにつながる。ホームゲームの開催が交流人口の増加をもたらし、地域の経済的なメリットを生む。住民の心理面、経済面を合わせて、プロスポーツクラブはその地域を豊かにする。プロスポーツクラブは単に地域ににぎわいをつくるだけではない。人々の心象風景を変えるにとどまらず、まちの姿そのものを変える力がある。プロスポーツクラブには地元自治体、企業と連携しながら、「まちづくりを推進していくポテンシャルがある。自治体に望みたいのは、地域の貴重な資源であるプロスポーツクラブの有効活用であり、活用を進めれば自治体だけではできないことが可能になる。社会課題を解決し、まちづくりを推進することができる。泉大津でもこのような事ができるように調査研究をしていきたいと思います。

パネルディスカッション

テーマ 文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展

コーディネーター

東京大学大学院人文社会系研究科教授 小林 真理

パネリスト

合同会社 imajimu 代表取締役 今川 和佳子

拓殖大学商学部教授 松橋 崇史

静岡県沼津市長 頼重 修一

京都府綾部市長 山崎 善也

所見 「一巡した文化芸術を活用したまちづくり」
～自治体文化行政から魅力的なまちへ～
・～いま、改めて文化への注目
・自治体文化行政の発展と展開
・文化施設建設と運営の反省と転換
・まちづくりのコアとしての文化、文化施設
「八戸の独自性が生み出してきたもの」

- ・複合的な機能を持つ「はっち」の誕生
- ・市民のマンパワーが人をつなぐ
- ・郷土芸能とあー親和性

「地域かにおけるスポーツの役割とその変化」

- ・地域活性化とトップスポーツクラブ
- ・地域活性化とスポーツ政策
- ・「全力」を可視化するスポーツ
- ・多様性を体現するスポーツ

「スポーツとアニメを活用したにぎわいの創出」

～誇り高い沼津を目指して～

- ・スポーツを活かしたまちづくり
 - (1) フェンシングのまち沼津
 - (2) アスルクラロ沼津
 - (3) サイクリストフレンドリーエリア沼津
 - (4) プロスポーツが楽しめるまち沼津
- ・アニメ『ラブライブ！サンシャイン！！』を活かしたまちづくり
 - (1) 聖地巡礼
 - (2) 民間の取り組み
 - (3) 行政の取り組み










「文化芸術・スポーツで紡ぐまち・綾部」

—市民一人1文化・1スポーツの推進—

- ・受け継がれる文化芸術の礎
- ・合唱のまち・綾部
- ・文化がかおるまち綾部
- ・豊かな自然を活かしたスポーツによるまちづくり

各パネリストの話は大変興味深い内容で、泉大津でも出来る可能性が大いに
ある内容ではないかと思い、調査勉強していきたいと思えます。

支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 	係長 	担当者 **	入力 	財政課合議 **	検収者 /	


起票日	令和5年9月27日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和5年度	会計	01 一般会計
科目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	
予算区分	0 現年度		

金額	81,620 円	控除	所得税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	15 回		雇用保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	1,200,000 円		その他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	377,666 円	請求書番号	控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	822,334 円				
源泉支払内容	*****				

件名	旅費 10/11~10/13 青森県八戸市 第85回全国都市問題会議
----	------------------------------------

摘要	井上議員
----	------

支払方法	21 現金払	支払希望日	令和5年 10月10日
住所			
名称	泉大津創志会代表者 池辺 貢三		
役職等/氏名			
銀行/口座			
口座名義人			債権者番号

領収住所			領収印	
氏名	泉大津創志会代表者 池辺 貢三			

上記の金額を領収しました。

支払済

令和5年 10月10日
 泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認

002

負担行為番号
05-002637

伝票番号

05-010648

整理番号

05-000012-15






呼出番号

00539623



05 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

5年927

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号(第4条関係)

政務活動費交付請求書

令和5年9月27日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 泉大津創志会
代表者名 池辺重三



政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	81,620円		
内 訳	10/11~10/13 青森県八戸市 第85回全国都市問題会議 参加旅費		
支払先	井上 信久		
予算科目	旅費	交付残額	822,334円
使用者名	井上 信久		

令和5年度

出張申請書

(出張)

会派名	泉大津創志会		氏名	井上 信久				
出発・帰庁年月日	出発 令和5年10月11日		帰庁 令和5年10月13日					
出張先(順路)	八戸市公会堂・公会堂文化ホール(青森県八戸市内丸一丁目1番1号)							
目的及び用件	第85回全国都市問題会議に参加							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 490	円	円	円	円	円	円 490
なんば駅前 (空港リムジンバス 伊丹空港線) 伊丹空港				650				650
" (飛行機) 三沢空港		JAL2163便 (スペシャルセイバー) 14,310						14,310
" (三沢空港連絡バス) 本八戸駅前				1,500	2泊 30,000	3日 7,000		38,500
本八戸 (八戸線) 八戸	1194.4							
" (東北新幹線) 東京	6.1	14,080						14,080
" (東北新幹線) 東京			特急料金 (はやぶさ) 6,800					6,800
" (東海道新幹線) 新大阪	631.9		特急料金 (のぞみ) 5,810	繁忙期 200				6,010
" (大阪メロ御堂筋線) なんば 難波	556.4							290
泉大津 (南海本線)		490						490
(線)			10月12日の日当については、泉大津市職員旅費条例第23条及び同条例施行規則第4条の例により支給しない。				計	81,620
(線)								

主管課用

令和5年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	泉大津創志会	氏名	井上 信久
出発・帰庁年月日	出発 令和5年10月11日	帰庁 令和5年10月13日	
出張先(順路)	八戸市公会堂・公会堂文化ホール(青森県八戸市内丸一丁目1番1号)		
目的及び用件	第85回全国都市問題会議に参加		

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 490	円	円	円	円	円	円 490
なんば駅前 (空港リムジンバス 伊丹空港線) 伊丹空港				650				650
" (飛行機) 三沢空港		JAL2163便 (スペシャルセ이버) 14,310						14,310
" (三沢空港連絡バス) 本八戸駅前				1,500	2泊 30,000	3日 7,000		38,500
本八戸 (八戸線) 八戸	1194.4							
" (東北新幹線) 東京	6.1	14,080						14,080
" (東海道新幹線) 新大阪	631.9		特急料金 (はやぶさ) 6,800					6,800
" (東海道新幹線) 新大阪	556.4		特急料金 (のぞみ) 5,810	繁忙期 200				6,010
" (大阪外口御堂筋線) なんば 難波			290					290
泉大津 (南海本線)			490					490
(線)								
(線)								
							計	81,620

10月12日の日当については、泉大津市職員旅費条例第23条及び同条例施行規則第4条の例により支給しない。

右の金額領収いたしました。

令和 年 月 日

金額	¥	8	1	6	2	0
----	---	---	---	---	---	---








泉大津市会計管理者 殿

職名 泉大津創志会

氏名 井上 信久



□決 裁 ■供 覧

受 発 記 号 ・ 番 号				収 受 年 月 日	令和5年10月23日				
差 出 名		泉大津創志会 井上 信久							
あ て 名		泉大津市議会議長			提 出 期 限				
収 受 文 書 の 記 号				収 受 文 書 の 日 付	令和5年10月18日				
件 名		報告書							
議 長		副 議 長		事 務 局 長		次 長		合	
									
主 管	次 長 補 佐		議 事 調 査 係 長		庶 務 係 長		主 査		議
									
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項									
<p>日 時 : 令和5年10月11日 (水) ~ 令和5年10月13日 (金)</p> <p>出張先 : 青森県八戸市 八戸市公会堂・公会堂文化ホール</p> <p>目 的 : 第85回全国都市問題会議に参加</p>									

(R5.10.23 又-1L提出あり)

会派代表



報 告 書

令和5年10月18日

泉大津市議会議長 様

(会派名) 泉大津創志会

出張者氏名 井上 信久



下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

1. 日 時 令和5年10月11日(水)～10月13日(金)
2. 出張先 青森県八戸市
八戸市公会堂・公会堂文化ホール
3. 目的 第85回全国都市問題会議
4. 報告事項 別紙添付

報告事項

第85回 全国都市問題会議

文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展

【第1日目 2023年10月12日（木）】

<基調講演>

東京藝術大学 学長 アーティスト 日比野 克彦 氏

「アートは役割ってなんだろう？」

「アートは生きる力」

1つ目の捉え方は、アートは「生きる力」である。

アートに欠かせないのは、イメージする力、想像力である。

アートには、時間に制限されている私たちの時間を柔軟に伸ばしたりすることができる機能があるような気がする。

そんな時に、この「想像力を備えているアート」と出会うと、どんな時にでもやってきてしまう今という時間と、自分ではどうにもどうにもならない瞬間、瞬間を自分でにじませながら生きていけることができるような気がする。

アートは、人が人らしく生きていくためにとても重要な役割をもっている。アートは「人が生きていく力」と捉えることができる。

「アートは多様性の指針」

2つ目の捉え方は、アートは「多様性ある社会を築く基盤」である。

現代の社会において、多様性の価値観への眼差しが次世代の大きなテーマとなっている。障害のあるなしとか、また、個々の異なる背景にかかわらず、誰しものが互いにその人のそれぞれのらしさを、排除しない社会を目指している。

「アートはこころに作用する」

3つ目の捉え方は、アートは「社会的な課題に対して持続的に取り組み続けていくには大切なもの」である。

人のこころを動かすことはアートの機能、役割、特性ともいえる。さま

さまざまな社会的課題は項目別に単独で別々の原因だけで起こっていることではなく、共通しているものがある。

それは、人の日々の行いである。その共通の原因は人の行動に起因しているということである。

「さいごに」

あらためてアートっていったい何だろう。

想像力を備えているアートは人の生きる力になり、1人1人の差異を個性という価値観を持つアートは人をつなぐものになり、心に作用するアートは社会的課題に取り組んでいく上で大切なものになる。

【感想】

今回、講演者が取り組んでいる事例をたくさん紹介されていた。アートは、「生きる力」、「アートは多様性の指針」、「アートはここに作用する」そういったことをテーマに作品作りをされていることが理解できた。

<主報告>

青森県八戸市 市長 熊谷 雄一 氏

「八戸市の文化・スポーツによるまちづくり」

1. はじめに

八戸市は、太平洋を臨む北東北東岸に位置し、面積は約 305k m²、人口約 22 万人の中核都市である。

2. 背景と取り組み

現在、市では「はちのへ文化のまちづくりプラン～八戸市文化芸術推進基本計画～」や「八戸市スポーツ推進計画」を定めている。

当市が近年取り組んできた、文化・スポーツによるまちづくりをいくつか紹介する。

(1) 文化によるまちづくり

八戸市史によれば古くは藩政時代の俳諧に始まり、現在にかけて地域の市民による文化活動は、さまざまなジャンルにわたり幅広い年代で

活発に行われてきた。

八戸三社大祭に彩を添える「法霊神楽」などの伝統芸能。文芸、芸能、美術、華道、茶道、生活文化の各ジャンルでも、八戸市文化協会をはじめとして活動が繰り広げられてきた。

2006年、市では、こうした市民の多様で特色のある自主的な文化活動を「多文化」を定義し、市民や有識者による「多文化都市八戸推進会議」を立ち上げ、振興策を検討してきた。一方、時を同じくして中心市街地活性化という地域課題がクローズアップされ、規制緩和に伴う商業機能の郊外移転、ライフスタイルの多様化、消費行動の変化などの影響により、旧市街地の商業機能が衰退する現象は、多くの地方都市が抱える課題となった。

そのような中、2011年新たな交流と創造の拠点として八戸ポータルミュージアム「はっち」を地域資源の魅力創出・発信、文化芸術、産業、観光、市民活動、子育て支援といった各施策を一体にした施設としてオープンした。

本会議の議題解説で紹介している「酔っ払いに愛を～横丁オンリーユーシアター」も「はっち」が取り組んだアートプロジェクトの1つである。

その場に行かなければ得られないもの、出会わない人はコトが集まる場を、市民が観客としてではなく、当事者として自らも参加したり創作したりできる形でつくるのが、「はっち」のキーコンセプトである。

その後、点から面へ、同様のコンセプトを共有しながら、八戸「ブックセンター」、八戸まちなか広場「マチニワ」、八戸市美術館と、目的や役割が異なり、市民の多様なニーズに応えられる文化施設を歩いて回遊できるよう公共交通網と併せて整備し市民と共に企画事業を展開してきた。

また、未だ空きビルが発生する都市機能再編の途上にあるとはいえ、これらの文化施設周辺において再開発につながったことは、公共の文化への投資が、民間による投資を呼び込んだものといえる。

(2) スポーツによるまちづくり

八戸市では、冬季は雪が少なく厳寒で空気が乾燥していることもあり、

古くからスケートが盛んであった。

1930年の第1回全日本スピードスケート選手権大会、1947年には第1回国民体育大会冬季大会スケート競技会が開催され、2023年の「国体」では、全国最多の14回目の大会が行われるなど、スケートは八戸の風土が育んだスポーツといえ、「氷都八戸」を象徴できる。

また、スポーツのプロ化という大きな波の中で、地元サッカーチーム「ヴァンラーレ八戸FC」は、地道な活動とチャレンジが実を結び、現在J3に所属している。市民を巻き込んだ民間ベースによる力強い活動があったためである。

八戸市では、八戸ポータルミュージアム「はっち」、八戸「ブックセンター」、八戸まちなか広場「マチニワ」、八戸市美術館等の文化施設をオープンし、またスポーツ施設では、防災拠点機能を持つ屋内スケートリンク「八戸市長根屋内スケート場YSアリーナ八戸」をオープン。さまざまな施設がオープンし、八戸の文化とスポーツを支えている。

【感想】

現在の世の中の流れでは、ハコモノを建設することは、次世代への負担増になると敬遠されがちであるが、八戸市では、市民のみなさんと一体となり取り組みを進めているところが興味深い。学ぶべきところが沢山あり、泉大津でもこの事例を活かせるようにしたい。

<一般報告>

文化事業ディレクター、演出家 吉川 由美 氏

「まちづくりの活力は地域に根ざした文化政策から育まれる」

八戸市の中心街再生の起爆剤とすべく、「八戸ポータルミュージアムはっち」を2011年2月に開館した。

「はっち」は、観光、地域資源、ものづくり、食文化、祭礼と芸能、風俗、自然、子育て、市民活動、シアター、スタジオ、アーティスト・イン・レジデンス、コミュニティFMなど、多様な情報のショーケースでありつつ、市民を主体とするさまざまな活動拠点が生み出されている。

八戸市では、市の職員さんがアートの力で中心街地を再生していこうという明確なビジョンを持ってプロジェクトを立案した。

- ① 中心市街地を関心空間にする。
 - ② フラットなコミュニケーションの場にする。
 - ③ 地域資源の価値をみんなで見出す。
- 市をあげてアートに取り組んでいくという意気込みを感じる。

宿泊しているホテルから都市問題会議の会場に移動している際、八戸市の市街地を歩くと、一般の民家に龍をかたどったアートがあちこちに飾られていた。街をあげてアートを推進していることがよくわかった。

泉大津市でも街や商店街、飲食店の並びをあげてアート作品を展示してみるのもよいと感じた。

<一般報告>

長野県東御市 市長 花岡 利夫 氏

「標高差 1,500m の地勢を活かしたスポーツ・ツーリズムの創出」

長野県東御市は 2004 年に東部町と北御牧村の 2 町村が合併して誕生した市である。東御市一帯は、高低差のある地形を活かし古くから名馬の産地として栄えた。

また、江戸期には北国街道の宿場町「田中宿」、「海野宿」を中心に発展してきた。

東御市では、平成 30 年に文化芸術やスポーツの一層の振興および身近な文化芸術やスポーツが持つ「魅力」や「可能性」を再認識し、総合的かつ効率的に推進できる体制を構築し、地域の資源や特性を活かした「まちづくり」を図るため、文化芸術行政とスポーツ行政を市長部局に移管した。

移管に伴い、文化芸術・スポーツが生み出す魅力と発展に向け、振興施策の方向性を示すため「東御市スポーツ推進計画」と「東御市文化芸術推進計画」を策定した。

東御市は、千曲川の東岸から浅間山系にかけて標高差が 1,500m に及ぶ。この地は、日当たりは良いが平地が少ないことがまちの欠点であった。しかし地方創生で大切なことは、欠点を認めたくえで転換志向をもって地域の資源（価値）につなげることである。

標高差のあるまちの特徴を活かすために思いついたことは、2点

①ワイン醸造

②高地トレーニング

であった。

—地域固有の価値を創出し最大限に活かす。—

高地トレーニングとは高地の低酸素状態で血液中の酸素を体内に運ぶ能力を高めるものである。すでにある地域資源から自らの手で新しい価値を生み出したことで、そして多様なステークホルダーが参画・連携し、共創によって新しい公共スポーツ施設が建設されたことに大きな意義があると考ええる。

スポーツ施設は、すべて公費で設置・運営するのが当たり前という考え方ではなく、施設の設置によって利益を得るもの（ステークホルダー）等と相互に協力しあうという意識改革、ステークホルダーが建設や運営に対して応分を負担し、地域とともに支えるという新たな形の地域づくりのスタイルことが「地方創生」なのかもしれない。

【感想】

今回の話を聞いて、街の弱点（標高差が1,500mもあること）に対して知恵を出し合い、その弱点を有効活用することにより、強みにかえ、そこからさらにスポーツに活かす取り組みにしているところが、素晴らしい。弱点も活用によって強みにすることができるということ。

泉大津市が抱えている弱点をひとつでも多く強みにかえ活用できるようにしたい。

<一般報告>

株式会社鹿島アントラーズFC 取締役副社長 鈴木 秀樹

「まちづくりにおけるプロスポーツクラブの有効活用」

—鹿島アントラーズと地域との深いつながり—

アントラーズが本拠を置く地域はかつてのどかな農漁村であった。高度経済成長期の1960年代に鹿島臨海工業地帯の開発で様相ががらりと変わった。大きな鉄鋼業、石油化学工業などの工場群、火力発電所が

立ち並ぶ工業のまちとなり、それに伴い雇用が生まれた。しかし近隣に娯楽施設がなく、若者の首都圏への流出が社会問題となる。旧住民と新住民をいかに融和させるかという課題も発生した。

そのため、鹿島町、神栖（かみす）町、波崎（さざき）町（当時）が有識者とともに「楽しい」街づくり懇談会」を立ち上げ、魅力あるまちとするための討論を重ねた。そうした中、日本サッカー協会によるＪリーグ構想が目にとまり、「サッカーによるまちづくり」に舵をきった。

プロリーグ検討委員会の川淵三郎委員長（初代Ｊリーグチェアマン）から「99.9999%不可能」と言われながらも日本リーグの住友金属工業蹴球団をプロ化し、日本初の屋根付きサッカー専用スタジアムを急ピッチで建設し、1993年のＪリーグ参画を果たした。

それ以来、自治体、民間企業、アントラーズが一体となって地域の活性化、地域振興を進めてきた。

アントラーズ創設当初のホームタウンは、鹿島町、大野町など5町村だったが、平成の町村合併を経て、現在は鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、銚田市という構成になっている。

クラブ創設当時からホームタウンの自治体が出資団体として参画していることが、アントラーズの特徴である。

また、ホームタウン5市から行政職員が1人ずつ1年交代でクラブに向向している。さらに茨城県、国土交通省からも出向を受け入れてきた。

—鹿島アントラーズによる地域の社会課題解決—

鹿島アントラーズは国内最多のタイトル20冠を重ねながら、地域のシンボルとなり、まちのにぎわいをつくり、地域住民の心を躍らせ、豊かにしてきた。地域に根ざしたクラブづくりを進めながら、地域を活性化させてきた。

しかし、それだけではプロスポーツクラブのポテンシャルを十分発揮しているとはいえない。クラブのリソースを持て余していることになる。アントラーズは次のフェーズに踏み込み、地域の社会課題の解決を使命と捉え、数々の事業に取り組み始めた。

この地域は高度な医療、教育に乏しく、それが地域の課題になっている。2015年、カシマスタジアムに隣接する「アントラーズスポーツクリニック（ASC）」を設立し、アントラーズのチームドクターと理学療法

士（PT）が整形外科医療、リハビリの高度なノウハウを地域に還元する形を整えた。

自治体に望みたいのは、地域の貴重な資源であるプロスポーツクラブを有効活用することであり。活用を進めれば自治体だけではできないことが可能となり、社会課題を解決しまちづくりを推進することができる。

【感想】

プロスポーツクラブが、地域に貢献する活動をすすめるという画期的なことをはじめたことを知り、その可能性は非常に大きいと確信する。

【第2日目 2023年10月13日（金）】

<パネルディスカッション>

「テーマ」

文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展

「コーディネーター」

東京大学大学院 人文社会系研究科 教授 小林 真理 氏

「一巡した文化芸術を活用したまちづくり」

～自治体文化行政から魅力的なまちへ～

—いま、改めて文化への注目—

国が文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律（通称、文化観光推進法）が制定されたのが2020年である。文化庁によると文化観光は、「文化の振興を、観光の振興と地域の活性化につなげ、これによる経済効果が文化の振興に再投資される好循環を創出することを目的とするもの」と位置付けている。

この説明をもう少しかみ砕いてみると、地域の文化を継続的に存続させ、必要に応じて発展させていくためには地域が持続可能でなくてはならず、文化や観光や地域の活性化に資することができるという発想である。

東京オリンピック・パラリンピックで創出される予定だった海外からの観光客に向けて、再度日本を訪れてもらうために観光で得られる価値をより高い満足へと引き上げていくことが必要であり、そこで注目すべ

きは日本全国多様な文化である。

これまで主に住民個人の学習や住民間のつながりの醸成に活用されてきた文化領域が、観光。まちづくりへと境界を越えて展開されるようになってきている。

既存の領域においては批判的に受け止められることが多いように思われるが、そもそも文化には、そのような性質があるものだ。ようやく文化の価値観が広く認められ、不可欠な公共サービスとして再認識されるようになってきた。

—まちづくりのコアとしての文化・文化施設—

新しく建て替えをした近年開館している図書館は、これまで惹きつけなかった人を惹きつけ、活気を呈している。美術館の作り方も変わってきている。

図書館や美術館が衰退する中心市街地の活性化の一部を担っていることもある。若者や高齢者の可能性を引き出す場になり、都市の居心地の良さを提供する場にもなっている。それは観光化ではなく、文化の本来的な価値や機能に気づいたということだ。

一言で文化のまちづくりといっても多様な展開領域を有している。これまで取り組まれてきた地方自治体の文化行政も、年数を経てひとつひとつの課題を解決しながら、ようやく都市の魅力のコアとして展開するための足掛かりをつかんだように見える。

「パネリスト」

合同会社 i m a j i m u 代表取締役 今川 和佳子 氏

「八戸の独自性が生み出してきたもの」

—「はっち」の誕生—

2000年初頭、多くの地方都市がそうであったように、都市機能の郊外化によって中心市街地の求心力が著しく低下するといった現象が八戸でも起こっていた。

2011年2月「八戸ポータルミュージアム はっち」という施設をオープンさせ、八戸市の中心市街地活性化の起爆剤として位置づけられた事業として、現在もその存在感を放ち続けている。

その後、2016年「八戸ブックセンター」、2018年「八戸まちなか広場マチニワ」、2021年「八戸美術館」などの公共施設が次々と整備された。それぞれが類を見ない個性的な事業を展開しながら、地域と連携し、界限ににぎわいと話題を呼んでいる。

—市民のマンパワーが人をつなぐ—

「はっち」はまちをフィールドにしたさまざまなアートプロジェクトに取り組んできた。「酔っ払いに愛を〜横丁オンリーユーシアター〜」、「デコトラヨイサー!」、「はっち流 騎馬打毬」(きばだきゅう)など、アーティストと市民、そして八戸ならではの文化をテーマに、それらを掛け合わせることで、無数の発見と人のつながりが生まれた。

このプロセス重視型のアートプロジェクトという考え方が、時間をかけてじわじわとまちに新党してきた意義は大きく、市民とアートとの距離感や関係性の在りように少なからず影響を与えている、

ここ10数年で複数の文化。スポーツ施設が整備された八戸。今後いかにして地域に根付く「文化」と、市民のポジティブなエネルギーや創造力を引き出し続けることができるか。次のステージのスタートラインに、今まさに立っている

「パネリスト」

拓殖大学 商学部教授 松橋 崇史 氏

「地域活性化におけるスポーツの役割とその変化」

—地域活性化とスポーツ政策—

スポーツと地域社会をめぐる政策は、1970年代以降進んだ。高度成長期に都市部に流入した人々が新たなまちを創るなかで、行政主導のスポーツ教室から新たなスポーツサークルを誕生させる試みが生まれた。

東京都杉並区の向陽スポーツ文化クラブや神戸市垂水区の垂水団地スポーツ協会では、住民自治によるスポーツクラブが誕生した。

一方、地方都市でもスポーツを活かしたまちづくりの試みが生まれた。代表的な試みは国民体育大会(国体)である。47都道府県の持ち回り形式で会場が決定される。

国体では、それぞれの種目の開催を、広域自治体内のいずれかの市区町村が受け持つ。

—多様性を体現するスポーツ—

多様な人々の活躍を目指す地域にとって、多様な人々にスポーツ実施環境を構築することは、重要な課題になりうる。スポーツで競い合うことは対戦相手に勝利するため「全力」で取り組むプロセスを含み、参加者や観戦者に活気を与えうる。

そして「全力」で取り組む対象としてスポーツが多くの人々が取り組めるように、多様な人々が同時に取り組めるように変化し拡張している。トップアスリートとの交流会を自治体の政策推進や地域社会の課題解決に活かそうとするプロセスの中で、パラスポーツに関連した活動が盛んになった。多様化を体現し、尊重しようとするパラリンピックのコンセプトが多く地域で受け入れられたことは、東京 2020 大会が日本社会に与えた影響の中でもシンボリックなもの 1 つに数えられる。

地域活性化に親和性のあるスポーツの特徴として、「全力」を可視化すること。多様性を体現することに焦点を当て紹介した。変化するスポーツの特徴を捉えること、もしくは、スポーツに新たな価値を付与することを通じて、スポーツを地域活性化に活かしていく視点が重要になる。

「パネリスト」

静岡県沼津市 市長 頼重 秀一 氏

「スポーツとアニメを活用したにぎわいの創出」

～誇り高い沼津を目指して～

—スポーツを活かしたまちづくり—

沼津市は、海山川の豊かな自然に恵まれ、サイクリング、マリンスポーツを楽しめる海岸線エリアやハイキング、トレッキングが楽しめる丘陵エリアなど、バラエティに富んだスポーツエリアを数多く有している。

令和 5 年 3 月にオープンした沼津市総合体育館「香陵アリーナ」やフェンシング交流拠点施設「F 3 B A S E (エフスリーベース)」、BMX や MTB (マウンテンバイク) の遊び場・練習場となる施設「DKFR

EE MTB PARK」といった多彩なスポーツ施設が点在している。

—アニメ「ラブライブ！サンシャイン！！」を活かしたまちづくり—

「ラブライブ！サンシャイン！！」は、沼津市内の海沿いにある内浦地区の学校を舞台に結成されたスクールアイドルグループ「Aqours」の奮闘と成長を描く物語で、テレビ放送や劇場版映画が公開され大人気となった。作品の公開を機にいわゆる聖地巡礼として、作品に登場した市内の各所にファンが次々に訪れ、市民もまたファンと同じように作品を好きになり、おもてなしの心をもってファンを受け入れたことにより、ファンと市民とのさまざまな交流が生まれ、「ラブライブ！サンシャイン！！」は、沼津市のまちづくりに欠くことのできない重要なコンテンツの1つとなっている。

沼津市は、スポーツ・アニメを通じ、地域資源の掘り起こしや沼津の魅力発信に取り組んできたが、その結果、多くの方々に沼津にお越しいただき、その皆さんと市民との交流の輪が広がるとともに、新たな市民や民間企業の交流が生まれ、多くのビジネスチャンスも創出された。

「パネリスト」

京都府綾部市 市長 山崎 善也 氏

「文化芸術・スポーツで紡ぐまち・綾部」

～市民一人1文化・1スポーツの推進～

—市民一人1文化・1スポーツの推進—

綾部市では第6次綾部市総合計画（2021-2030年度）に基づき、文化芸術が人々に感動や生きる喜びをもたらす人生を豊かにすることから、多くに市民が文化芸術に触れ親しむ機会の充実を図り、「市民一人1文化」の推進により文化のかおるまちづくりを目指している。

—合唱のまち・綾部—

1980年度から開催されている「綾部市民合唱祭」は、毎年12月に綾部市合唱連盟を主体に運営され、今では市を代表する文化イベントの1つとして初冬の風物詩となっている。

このほか、毎年、小学生音楽交流会や中学校連合音楽祭が開催され、歌や合奏を披露するとともに児童・生徒全員が市歌を歌うことが「ふるさと教育」の1つにもなっている。

また、終戦記念日には市街地を見渡せる小高い山の頂に多くに市民が集い、市歌等を合唱する「市民平和祈願の集い」も開催。最近では市民が市歌に愛着をもてるように有志で「みんなであやべの歌を歌う会」が結成されるなど「合唱のまち・綾部」は、市のアイデンティティとして根付いている。

コロナ禍もようやく収束が見えてきた今、不要不急とまでいわれた文化芸術やスポーツの意義に人々は改めて気付いた。文化芸術のもつ潤いや癒しがいかに大切か。

「近き者悦ばば遠き者来る」。これは孔子の言葉である。

まずは、住民自身がそれぞれの地域に誇りを持たない限り、定住や交流の促進は覚束なくその土地を訪ねてきた人に対して住民が自信を持って自分たちのまちの素晴らしさを語ることから地方創生ははじまるのである。この言葉は、まさに地方創生の核心を突いた格言といえる。









<さいごに>

人生の中で初めて青森県は八戸市を訪れ、まちの人達の印象は、とても温かみのある良いお人柄の人たちであった。特に感じたのは、交通マナーが素晴らしかった。交差点に歩行者がいれば、必ず停車して、歩行者が通り過ぎるまで待ってくれる。(当たり前のことであるが、大阪ではできていない場合が多く感じます。)

そういった人柄の人達でつくりあげる文化やイベントは、温かみを感じるイベントがある。例えば、「酔っ払いに愛を～横丁オンリーユーシアター」などがそうである。どこのまちでも嫌がられる酔っ払いに対して、愛という焦点をあてたイベントは、きっと大阪では成立せず、八戸市の横丁という文化とそこで暮らす市民の人柄が成立させたのだと感じた。

今回の全国都市問題会議では、他市の事例をたくさん学ぶことができ、とても良い勉強となった。この学びを活用できるにこれからも取り組んでいきたい。

支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 	係長 .	担当者 **	入力 	財政課合議 **	検収者 /	


起票日	令和 5年 9月 28日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和 5 年度	会計	01 一般会計
科目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	

金額	2,838 円	控除	所得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	16 回		雇用 保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	1,200,000 円		そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	380,504 円		控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	819,496 円		請求書番号		
源泉支払内容	*****				

件名	事務費 カシオ計算機(株)製 電卓 (特大表示) DF-120VB-N
----	-------------------------------------

摘要	
----	--

債権者等	支払方法	21 現金払	支払希望日	令和5年 10月17日
	住所			
	名称	泉大津創志会代表者 池辺 貢三		
	役職等/ 氏名			
	銀行/ 口座			
	口座名義人	債権者番号		

領収	住所	領収印	
	氏名	泉大津創志会代表者 池辺 貢三	

上記の金額を領収しました。

支払済









令和5年 10月17日
 泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認

001  負担行為番号
 05-002637
 伝票番号
 05-010701 呼出番号
 整理番号
 05-000012-16 00539739



05 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								 

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

令和5年9月28日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名
代表者名

泉大津創志会
池辺真三



政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	2,838円		
内 訳	カシオ計算機(株) 電卓 (特大表示) DF-120VB-N		
支 払 先	(株) イノウエ商事		
予 算 科 目	事務費	交付残額	819,496円
使 用 者 名	泉大津創志会		

納品書 登録番号 T9120101042177



泉大津創志会

取引先コード	年月日	伝票番号
1001-100	R5.9.27	883497-1

様 9

TEL 0725-23-1147(代)
FAX 0725-22-4445

JOINTEXコード/メーカー名	製品品番/品名	数量	単位	単価	金額	備考
カシオ計算機(株)	DF-120VB-N 電卓 特大表示	1.00	台	2,838.00	2,838	売上
摘要		(10%対象	(内消費税等 258) 消費税 258)	明細合計	2,838	検 印
				消費税額	0	
				伝票合計	2,838	

「※」は軽減税率対象であることを示します。

請求書 登録番号 T9120101042177



泉大津創志会

取引先コード	年月日	伝票番号
1001-100	R5.9.27	883497-1

様 9

TEL 0725-23-1147(代)
FAX 0725-22-4445

JOINTEXコード/メーカー名	製品品番/品名	数量	単位	単価	金額	備考
カシオ計算機(株)	DF-120VB-N 電卓 特大表示	1.00	台	2,838.00	2,838	売上
摘要		(10%対象	(内消費税等 258) 消費税 258)	明細合計	2,838	検 印
取引銀行				消費税額	0	
				伝票合計	2,838	

「※」は軽減税率対象であることを示します。

領収証 泉大津創志会

様 No. _____

★ ~~¥~~ 2,400-

但 電 卓

R5年 10月 20日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

大阪府泉大津市我

株式会社 イノウ

電話0725-23-



コクヨ ウケ-6N

登録番号 T9120101042177

内 訳	税率	金額(税抜・税込)	税率
	%	消費税額等	%